

松島町 インターンシップ

町では、今年度より大学生を対象に、実習生が希望するプログラムを自由に組み合わせて取り組むことのできるインターンシップを実施しています。2回目となる今回の10月実施分では、東北大学を始めとする7つの大学より、合計10名のインターンシップ実習生を受け入れました。初めての業務で不慣れな中、一生懸命に取り組んだ姿を掲載していますので、ぜひご覧ください。

都市計画



インターンシップ実習生の感想(抜粋)

町の歴史と文化を繋いでいく事の大切さを学びました。自分が生まれ育った地域では体験できない事を体験でき、さらに、松島町の魅力にも気付くことができました。

健康づくり



文化財業務



インターンシップ実習生の感想(抜粋)

ノルディックウォーキングを通し、町民の方と触れ合い、健康づくりの提案など行い、勉強になりました。行政のイメージは曖昧でしたが、今回参加して改めて行政で働きたいと感じました。

インターンシップ実習生の感想(抜粋)

実際に現場を見たり、実務に近い仕事内容に触れることができ、勉強になりました。公務員がどんな仕事をしているのか始めは分かりませんでした。どのようにして私たちの生活に関係しているのかよく分かりました。

イベント運営



インターンシップ実習生の感想(抜粋)

- 子ども未来アカデミーでは、小学生が町についての意見を沢山発していて、子どもたちが自分の町に強い関心があると気付きました。
- 自分の中にあった公務員のイメージと異なり、日常には行政が関わっている事が多いという事を知りました。

観光行政



まちづくり



インターンシップ実習生の感想(抜粋)

- 役場職員が農家さんと飲食店経営者との仲介となり、人と人を繋げ新たな地域活性化になっていると学びました。
- 現場に足を運び、対面でお話することで説得力や意見の相違も少なくなることも実感しました。

観光行政



インターンシップ実習生の感想(抜粋)

公務員はデスクワークのイメージでしたが、観光行政業務は町の魅力を伝えるために、他県に訪問やイベント運営を実施など、インターンシップに参加して知りました。また、産業観光課の職員の方々は、観光に関する考えが洗練されていて自分も勉強になりました。



第600号 発行記念特集!

広報まつしまと振り返る 松島町50年の歩み

広報まつしまは今月号で600号を迎えました。町では、1年に12回広報紙を発行しています。

ほんの一部ではありますが、これまで発行した広報紙を紹介します。

また、600号記念に今回掲載した広報紙をHPに掲載しました。ぜひ、ご覧ください。

※平成21年1月号以降は、HPのバックナンバーからいつでも見ることができます。町HP▶



(昭和49年5月1日)



(昭和54年2月15日)

記念すべき第1号の表紙は、本郷保育所にて撮影されました。松島町の予算や人事異動、庁舎案内などが掲載されています。覚えていらっしゃる方はいらっしゃいますか?

昭和54年1月28日、海岸中央広場で「第1回松島かき祭り」が行われました。当時は、冬期間の観光客が少なかったため、観光の目玉になると期待されていました。



(昭和62年4月1日)



(昭和62年9月1日)

昭和62年3月3日、「どんぐりころころ」の歌碑が第五小学校校庭に建立されました。松島町出身の青木存義さんが、松島で過ごした幼い日を想い作詞しました。

昭和62年8月1日、松島町と象潟町(現にかほ市)の夫婦町締結調印式典が挙行されました。今でも交流が続いており、災害時の職員派遣や見舞金の贈呈など、お互いに支えあっています。



(平成15年4月1日)

平成15年4月1日、松島町の町花・町木を制定しました。全世帯の町民を対象としたアンケートにより、町花は「セッコク」、町木は「マツ」となりました。



(平成26年2月1日)

昭和44年庁舎竣工以来、約45年にわたり町の発展を見守り続けた旧庁舎が平成25年12月27日に閉庁しました。現在の庁舎は翌年1月6日から使われています。



(平成27年1月1日)

昭和2年の開館から88年、長年親しまれてきたマリンピア松島水族館が平成27年5月10日に閉館しました。広報まつしまでは5回にわたり特集記事を掲載しています。



(令和5年3月1日)

松島町の公式キャラクターであるどんぐり松ちゃんが新しく生まれ変わりました。町内外のイベントに参加しているどんぐり松ちゃんを探してみてください。